

# ドナー登録後の流れについて

## ドナー登録について

ドナー登録は2mLの採血で済みます。HLA(白血球の型)はコンピューターに登録されます。  
<https://www.imdp.or.jp/donation/>

### 注：ドナー登録ができない条件

18歳未満/55歳以上の方  
体重が男性45kg以下/女性40kg以下の方  
病气療養中又は服薬中の方  
悪性腫瘍、膠原病、自己免疫疾患、先天性心疾患、心筋梗塞、狭心症、脳卒中など  
高血圧(151以上89以下、最低血圧101以上)  
輸血を受けた方  
ウイルス性肝炎、エイズ等感染症の病气の方  
食事などによる呼吸困難がおきた方、高度の発疹の既往がある方  
過度の肥満の方(体重kg/身長m/身長mが30以上)  
妊娠中および出産後1年未満の方

## 適合した場合

患者さんのHLA型と適合した場合は、詳しい説明がなされ、骨髄・末梢血幹細胞の提供のうち承諾しない方法があるか確認します。

## 最終合意

立会人のもとドナー候補者の最終的な提供の意思が確認されます。  
(家族の同意も必要となる。)

## 骨髄提供の場合

提供には通常、3泊4日の入院となります。骨髄の背中側、ベルトの位置より少し下の腸骨に針を刺し、骨髄液を吸引します。(全身麻酔下で行われる。)

## 末梢血幹細胞提供の場合

白血球を増やす薬(G-CSF)を3~4日間注射し、通常1~2日入院します。腕に針を刺し、血液中の造血幹細胞だけを取り出し、残りの血液を戻します。

## 提供後について

提供後、数日内で退院し、日常生活にもどることができます。退院後は、健康診断を行うなど、ドナーの健康診断などのフォローアップを行います。

## 費用について

骨髄・末梢血幹細胞の提供の為の費用、入院費用はかかりません。但し交通費は自己負担。  
各県毎にドナーの為の助成金有(提供一回につき14万、1日につき2万)

## 有給休暇について

提供時の入院や採取後の健康診断を含めると10日間以上休まなければなりません。  
骨髄バンクドナー休暇制度について 導入企業は下記【ドナー休暇制度】参照  
企業・団体は732社(2022年7月1日現在)  
<https://www.jmdp.or.jp/>

